

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 二宮 裕一郎
所属 (School) 工学研究科
学年 (Grade) 修士1年

留学先 (Name of overseas institution)
インド科学産業研究評議会-学際的科学技術国立研究所 (CSIR-NIIST)

留学期間 (study abroad period)
2017/8/24~2017/9/23 (31 日間)

留学レポート Study Abroad Report

今回は共同研究の一環としてインド科学産業研究評議会-学際的科学技術国立研究所 (CSIR-NIIST) に留学させていただきました。元々海外留学は中学生の頃に無理やり親に中国に交換プロジェクトの一環で行ったことはあったのですが、その時は周りに日本人ばかりでした。ただその時から少しずつ海外に興味を持ちはじめ、自分一人で留学を試みたいと漠然と思っていました。しかし、それ以降タイミングやきっかけがなかなか無く、一人での留学経験はありませんでした。



しかし研究室に配属され、自身の研究テーマが色素増感太陽電池(DSSC)のテーマで、それがインドとの共同研究であったことが大きなきっかけでした。研究が上手いけば、後タインドへの留学の可能性があると先生にお聞きし、それをモチベーションとして研究を行う事が出来ました。また、研究室内の留学生とのディスカッションや普段の生活を共にすることで、更に自分の中にあった留学に行きたいという気持ちが強くなりました。このようにして、一カ月間という長くはない期間ですが、留学に行く流れとなりました。

実際インドに行った際に思ったことはとにかく英語が難しいということでした。もともと英語力はないことは把握しており、数か月前からネットで出来る英会話サイトに登録をして、慣れるようにしていました。しかし、それでもインドの方が普通のスピードで話されるとほとんど理解できないレベルでした。それでもインドで何とか生活できたのは、現地の人達の優しさのおかげでした。私のためにゆっくり話してくれたり、何とか伝えようと身振り手振りで伝えてくれました。最終的には、ある程度は聞き取り会話が成り立つくらいには成長しました。また、インドでは様々なスパイスがあり、日本では食べられないような本場の大変おいしいカレーを食べることが出来ました。最初はなにがなんだかわからず、人生で初めて手でカレーを食べる体験もしました。

ただ、現地では三食カレーというのが当たり前だったので、おいしいとは言ってもさすがにしんどい思いでした。逃げるようにお菓子を買って食べたのですが、それ



もカレー味だった時はさすがに勘弁してくれと思いました(笑)。また、行った日が偶然にも州のお祭りの日で、学校でも学園祭を行っていました。インドで言う神様に扮した人と写真を撮ったり、インドの宗教などについていろいろお話を聞くことが出来、インド文化を学ぶことができました。

現地での研究に関しては、主に日本で合成した色素を持っていき、電池の作製を行いました。派遣先の研究室は電池の作製に特化しており、私の所属している研究室にはない装置も多数ありました。そこで、様々な条件での電池作成を1から教えていただいたり、所属研究室では出来ない測定を行うことができ、大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。おかげで論文投稿に向けたデータも揃い、これから執筆も行って行く予定です。また、NIISTではほとんどがポストドクやPh. D. コースの方々なので、ディスカッションでも有益な情報交換ができ、また他分野についても勉強させていただきました。日本では違う研究室で生徒同士が研究の面で交流はすることはあまりありませんが、インドではすぐ隣が違う研究室だったり、共同の実験室等もたくさんあるので、活発に情報交換が行える環境でした。そして、留学の最後には、初めて国際学会で発表する機会もあり、英語でのディスカッションに加え、異文化の研究者の考え方を知ることが出来ました。また、休みの日には研究室のメンバーだけでなく、そこでも研究室の垣根を越えた他の研究室の方達が様々な観光地に連れて行ってくれたりしました。

今回インドというなかなか普通の留学では経験できないような留学先に行かせていただき、研究の点では国際協働を行う難しさを知り、その難しさの中で試行錯誤し、新たな発見をすることに格別の感動を覚えました。また研究のこのことのみならず、今後の人生にも生きるような様々な経験をさせていただきました。インドでは研究室が急に停電になることや、お風呂で冷たい水しか出ない、トイレトペーパーがない等の様々な困難にぶつかりました。最初はもちろん戸惑うことばかりでしたが、留学を終えてみると、対応力等という点ではかなり成長できた実感があります。もう一つこの留学で感じたことは、自分一人の力のなさでした。日本では当たり前に行っていたことが現地では一人ではできなかつたり、言いたいことがなかなか言えないことがしょっちゅうでした。毎日のように大丈夫か?と聞いてくれる友達や、伝えられないことを何とか聞いてあげようとしてくれる人達の優しさが無ければ、1か月耐えられなかった気がします。改めて自分は周りに生かされているなと感じると同時に、自分ももっと周りの人を生かしてあげられるような人になっていきたいと感じました。

今留学を考えている人でなかなかインドという選択肢を持っている人は少ないと思います。しかし、インドは22の州から成り立っていることから、英語が基本的には使われているので、英語を学びたい人もその点は心配ありません。また、予算的な面でも予防注射等の準備費用は掛かりますが、現地では欧米の国々と比べるとかなり物価は安く、準備費用を含めても欧米より安上がりだと思います。水など気を付けなければならないものもありますが、基本的に食べ物も日本人の口に合うと思います。きれい好きにはなかなか難しいかもしれませんが、日本では経験できないことをしてみたい、刺激が欲しいという方はぜひインドに行ってみて欲しいなと思います。

